

行動科学

2単位 (選択) 1年 (後期), 2年 (後期)

濱田 治良・教授/臨床心理学専攻, 佐藤 健二・教授/臨床心理学専攻, 三浦 哉・准教授/地域科学専攻 (博士前期課程) 地域創生

【授業目的】 1) 精神物理学的な考え方を理解し, 人間の知覚が人間特有なものであり, 刺激と知覚反応の間には簡潔な法則性があることを理解する. 2) 人間の行動に関して, 特に, 臨床心理学的観点から, その成果 (例えば, トラウマの開示と健康の関連) と研究方法について理解する. 3) 人間の行動, 特に身体活動との関連から身体構造および呼吸・循環・代謝機能の特性, また, それらの測定評価方法について理解する.

【授業概要】 心理学とスポーツ科学の立場から, 知覚心理学と臨床心理学における研究方法, そして身体の構造と機能の特性, 測定法を講義し, 行動科学におけるエヴィデンスについて考察する.

【授業計画】

1. ウェーバーの法則 (濱田治良)
2. フェヒナーの法則 (濱田治良)
3. スティーブンスの法則 (濱田治良)
4. マッチング法とマグニチュード推定法による明るさの恒常性の検討 (濱田治良)
5. 極限法とマグニチュード推定法によるデルブーフ錯視の検討 (濱田治良)
6. 臨床心理学的研究法の概観 (佐藤健二)
7. 臨床心理学的研究法の基礎 1:学習理論 (不安障害や発達障害の治療)(佐藤健二)
8. 臨床心理学的研究法の基礎 2:社会的学習理論 (統合失調症の治療)(佐藤健二)
9. 臨床心理学的研究法の基礎 3:社会的学習理論:うつ病の認知モデルと認知療法 (佐藤健二)
10. 臨床心理学的研究法の基礎 4:トラウマの開示が心身の健康・認知機能に及ぼす影響 (佐藤健二)
11. 身体組成 (三浦 哉)
12. 身体活動時の呼吸機能の特性 (三浦 哉)
13. 身体活動時の循環機能の特性 (三浦 哉)
14. 身体活動時の代謝機能の特性 (三浦 哉)
15. 身体諸機能の測定評価方法 (三浦 哉)

【成績評価】 レポートにより単位認定をする.

【教科書】 なし

【参考書】 配布資料に基づいて講義を進める.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218046>